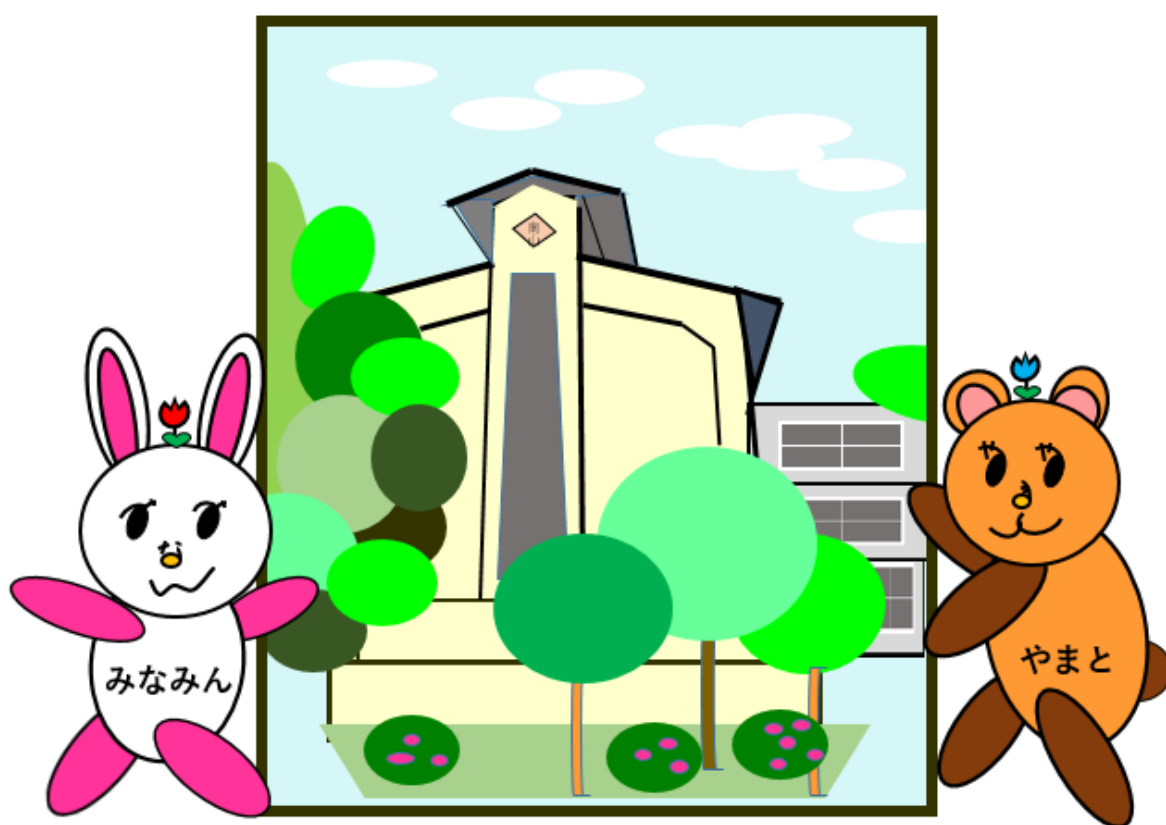


レッツ トライ！

《保護者向け》

家庭学習の手引き



八幡市立南山小学校

小学１・２年生（家庭学習時間の目安 30分以上）

小学校低学年は、生活習慣や家庭学習習慣を
身につけるスタートラインです

◎この頃の育ち

- 学校に通い、系統だった学習の始まりです。さまざまなことに興味・関心を持ち、自分でやっていこうとする時期です。手助けをしながら、できたことは、意欲と自信につながるように「よくやったね！」と笑顔でほめてあげましょう。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」はもちろんのこと、家の手伝いや自分で学習の準備をする習慣をつけていくことから、自ら学ぶ意欲を育てていきましょう。
- どんな出来事も、自分の都合のいいように話してしまう傾向がありますが、小さなことでも「えらかったね」とほめてあげることが意欲へとつながります。

◎家庭学習のポイント

～ 一緒にいて、やる気をおこす！ ～

- ・学習するときは身の回りの整理整頓をさせましょう。
- ・学校からのプリントや宿題は親子で一緒に確かめましょう。
- ・学習する時間や何時までに学習を終えるか目標を立てましょう。
- ・最後まで粘り強く取り組めるように声掛けをしましょう。
- ・「早寝早起き」「決まった時間に食事」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」などの基本的生活習慣が身につくと、学習習慣も身につきます。



◎学年で身につけたい力

習慣づけの １年生

- ・鉛筆を正しく持ち、正しい姿勢で字が書ける。
- ・ひらがな・かたかなが読めて書ける。
- ・助詞「てにをは」がつく文を正しく読める。
- ・新出漢字（80字）のすべてが読め、書ける。
- ・100までの数について数えたり、表したりできる。
- ・一けたのたし算やひき算が正確にできる。

逃げない子にする ２年生

- ・新出漢字（160字）の全てが読め、書ける。
- ・順序よく話ができる。
- ・主語・述語の意味が分かる。
- ・九九がすらすら言える。
- ・繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのあるひき算が速くできる。
- ・テンポよく九九が言える。
- ・決められた長さの直線を正確に引くことができる。

◎こんな学習方法で

国 語	【音読】 ・教科書などを、すらすら読めるように毎日練習させましょう。 ・好きな本を手に取り毎日少しずつでも読書をさせましょう。	
	【ひらがな・カタカナ・漢字】 ・ドリルなどを活用し、書き順に気をつけて、ていねいに正しく書かせましょう。	
算 数	【日記（あのね帳）】 ・いろいろな出来事やそのときの気持ちなどを、少しでも素直に自分の言葉で書くようアドバイスしてあげましょう。	
	【計算】 ・楽しみながら計算に慣れるようにさせましょう。 ・正確に計算できるようになったら、少しずつスピードを上げて練習させましょう。 ・間違った問題は必ずやり直す習慣をつけさせましょう。 ・かけ算の九九が正しく覚えられるように唱えながら練習させましょう。 ・文章問題は、声に出して問題を読ませましょう。	

◎学習しやすい環境づくりを

小学校低学年では、まず、学習習慣を身につけることが大切です。一人で勉強するよりも親の姿が目に入り、言葉を交わし合えるところで学習するとよいでしょう。また、学習する場所の整理整頓をしたり、ノーメディアにしたりすることで、学習に集中できる環境に整えることも大切です。



◎家庭での関わり 3 つのつば

①子どもの話を聞く！



忙しい毎日ですが、時には時間をたっぷりって、目を見て子どもの話を聞きましょう。

②家族も一緒にこんくらべ！

なにごとも、最後までやり切れるように声をかけましょう。テレビや動画、ゲームをする「メディア時間」について、時間を決めて守らせましょう。粘り強く働きかけることが大切です。

③子は親の後ろ姿を見て育つ！

大人が手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。家族みんなでよりよい学習環境づくりに努めることも大切です。「家族で読書」などぜひ取り組んでみてください。

小学3・4年生（家庭学習時間の目安 45分以上）

好奇心旺盛な小学校中学年期は
学習意欲を高めるとき！！

◎この頃の育ち

- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなります。行動範囲も広がり、自己主張や反抗などの口答えも見られるようになります。
- みんなで行動することを好み、同じものを持ちたがります。
- 子どもの成長をとらえ、家族の温かい声かけて学習に対する興味関心を高め、意識を育てていきましょう。

◎家庭学習のポイント

～ 認め、ほめて、自信をつける！ ～

- ・学習するときは身の回りの整理整頓をさせましょう。
- ・学校からのプリントを親に手渡し、宿題を自分で確かめましょう。
（プリントは「置く場所を決める」「食事の時に渡す」などのルール作り）
- ・時刻をきめて学習できるようにしましょう。
- ・自主学習が始まります。がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけましょう。



◎学年で身につけたい力

分岐点を乗り越える 3年生

- ・配当漢字（200字）のすべてが読め、書ける。
- ・主語・述語・修飾語の区別ができる。
- ・国語辞典を使うことができる。
- ・ローマ字を正しく読むことができる。
- ・かけ算の筆算や簡単なわり算などを正しい手順で計算できる。

「9歳の壁」を破る 4年生

- ・配当漢字（202字）のすべてが読め、書ける。
- ・国語辞典や漢和辞典を手元に置いて使い方に慣れる。
- ・文と文のつながりを考えながら、指示語、接続語を使う。
- ・割り算の筆算ができる。
- ・コンパスを正しく使うことができる。
- ・ローマ字を適切に書くことができる。
- ・47都道府県の名前を正しく書くことができる。

9歳の壁

自分のことを客観的にとらえられるようになる一方、発達の個人差が顕著になる時期。また、学習内容の抽象度が増えることで、勉強のつまずきが生まれたり、友人関係にトラブルが生じることも。このことから、劣等感を抱いたり、自己肯定感が持ちづらくなったりする現象が起こります。子どもが自信を持てるよう、「できたこと」を具体的に話したりほめたりして、自己肯定感を高めていきましょう。

◎こんな学習方法で

国語	【音読】 ・毎日1回は声を出して教科書を読ませましょう。 ・様子が分かるように気持ちを込めて読ませましょう。 ・国語辞典などをそばに置いて使えるようにさせましょう。 ・読書をして家の人と感想を話し合ひましょう。 【書く】 ・したことや見たこと、思ったことを日記に書かせましょう。 ・書き順、「はね」「はらい」「とめ」に気をつけて書かせましょう。
算数	【計算】 ・かけ算の九九を忘れないように時々唱えさせましょう。 ・筆算はノートのマス目を使って位をそろえて書くようにさせましょう。 ・計算の手順が正しく身につくように唱えながら練習させましょう。 ・文章問題は声に出して問題を読んだり、絵や図に描いたりして考えさせましょう。

◎脳がもっとも発達する時期

この時期から、脳の機能が大きく発達する時期と言われています。家庭でメディア時間についてのルールづくりをし、決まったことを意識して生活できるように声掛けをしていきましょう。



◎家庭での関わり 3 つのつば

①ほかの子と比べない！

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友達や兄弟・姉妹で成長を比べることは避けて、「がんばり」を見逃さずに、本気でほめましょう。

②目上の人に対する言葉遣いを教える！

ご家族の電話でのやりとりや、近所の人との会話から、子どもは敬語や尊敬語を覚え目上の人との関わり方を学びます。大人のすることをまねて、知識として覚えます。言葉だけではなく心が大切なことも教えましょう。敬語が正しく使えなくても、尊敬する気持ちを伝えることが大切なことも教えてあげてください。

③約束を決めて、守らせる！

メディア時間や外遊び、自転車の乗り方など子どもと話し合っ、ご家庭で約束を決めましょう。自分で決めたことはしっかりと守れるよう、約束を守る態度を育てましょう。

小学5・6年生（家庭学習時間の目安 60分以上）

小学校高学年は、中学校に向け
自主性を育てるとき！！

◎この頃の育ち

- 自分でやろうとする心が大きく育ちます。
- 体も心も急激に変化します。バランスがくずれ、不安定になることがあります。学校としっかり連絡を取り合しましょう。
- 教師や家族の言葉によって、学習に対する意欲や興味・関心が大きく左右されます。言葉かけに配慮が必要です。

◎家庭学習のポイント

～ 見守って伸ばす！ ～

- ・ 自分にあった生活のリズムを作らせましょう。
（学習に取り組む時間帯を決めましょう。）
- ・ 計画を立て、自力で学習を進めるよう見守りましょう。
- ・ 宿題以外の学習を習慣的に取り組ませましょう。
- ・ 新聞やニュースをテーマに、家庭で話をするなど社会の動きに興味を持たせましょう。



◎学年で身につけたい力

大きくジャンプアップする 5 年生

- ・ 配当漢字（193字）のすべてが読め、書ける。
- ・ 今まで習った漢字を使った熟語が書ける。
- ・ 小数のかけ算・わり算が正確にできる。
- ・ 分数のたし算・引き算ができる。
- ・ アルファベットの大文字・小文字を活字体で書くことができる。
- ・ ローマ字入力ができる。
- ・ 日本や世界の主要国の位置を正しく示すことができる。

中学生活に希望が持てる 6 年生

- ・ 小学校で習ったすべての漢字が読め、書ける。
- ・ 小学校で習った漢字を使って文章が書ける。
- ・ 分数のかけ算・わり算ができる。
- ・ 歴史上の出来事や人物について、だいたい説明できる。
- ・ 日本国憲法の前文や三権分立など、社会用語をだいたい説明できる。
- ・ アルファベットの大文字・小文字を活字体で書くことができる。

◎こんな学習方法で

※学校の宿題だけではなく予習・復習など計画的な自主学習が必要です。

国 語	【音読・読書】 ・抑揚をつける、間をとりながら読むなど自分のめあてに向かって練習させましょう。 ・詩や俳句、短歌などに親しませましょう。 ・学校の学習（例えば社会や歴史）に関連する読書にも挑戦させましょう。 【書く】 ・漢字の構成や字形を意識して書かせましょう。 ・漢字ドリルなどを活用し、難しい漢字の練習を行わせましょう。 ・習った漢字を使って文章を書かせましょう。
	【計算】 ・間違いはないか答えを確かめさせましょう。 ・考え方が身についているか、自分の方法は正しいかを教科書やノートで確かめさせましょう。 ・文章問題は、声に出して問題を読んだり、簡単な図に描いたりして考えさせましょう。

◎インターネット・携帯電話利用にはルールを

携帯電話もスマートフォンも、子どもに与えた最初が肝心です。メディアしっかり話し合って、使い方のルール作りをしましょう。

- ・保護者が子どもの使用目的や用途を把握する。
i-phoneの場合、「スクリーンタイム」
Androidの場合、「デジタルウェルビーイング」
- ・使用時間を決める。（携帯電話であれば学習や寝る時間は預かる）
- ・タブレット端末等は、できるだけ家族共有の場所に設置する。
- ・有害サイトへのアクセスを防止する（フィルタリング）



◎家庭での関わり 3 つのつば

①自主学習の習慣をつけさせる！

宿題をするのだけではなく、視野を広げるための読書や自分の趣味に費やす時間なども作らせましょう。

②よく考えて行動する習慣をつけさせる！

自分がしようとしていることの結果はどうか、行動する前に考えるようにさせましょう。善悪の判断を正しくできるようにさせましょう。

③子どもの存在を認める！

この時期の子どもたちが、反抗的な態度にでるのは、子どもなりの言い分があるからです。よく話を聞き、納得できるものか話し合ひましょう。良くないことははっきり教えましょう。